

とうにょうびょう 糖尿病新聞

第1号
2022年9月
発行人：糖尿病
指導検討委員会

とうにょうびょう 糖尿病のこと、ご存じですか？

とうにょうびょう わたしたち からだ
糖尿病になると、私たちの体はいったいどうなって

しまうのでしょうか？

けっとうち たかい せいかつ つづける けっかん
血糖値が高いままの生活を続けると、血管がもろく、

ぼろぼろ けっかんびょう
ボロボロになってしまいういゆる血管病になります。

けっとうち たかいじょうたい つづく ぜんしん けっかん しんけい おかされ
血糖値の高い状態が続くことで、全身の血管と神経が侵され

てきせい えいよう きょうきゅう とだえてぜんしん ぞうき しょうがい おこって
適正な栄養の供給が途絶えて全身の臓器にさまざまな障害が起こってくるの

です。これは、とうにょうびょう まんせいがつべいしやう
糖尿病の慢性合併症とよばれています。

とうにょうびょう まんせいがつべいしやう おおきくわける ほそいけっかん がつべいしやう さい
糖尿病の慢性合併症には、大きく分けると細い血管にみられる合併症(細

しょうけっかんしょうがい ふといけっかん がつべいしやう だいけっかんしょうがい
小血管障害)と、太い血管にみられる合併症(大血管障害)の2つがあります。



がつべいしやう さいしょうけっかんしょうがい 合併症 (細小血管障害) とは？

こうけっとう じょうたい ながいきかん つづく
高血糖の状態が長い期間にわたって続くと、

からだ ほそいけっかん いためてけつりゅう わるく
体の細い血管を痛めて血流が悪くなります。

ほそいけっかん しゅうちゅう ばしょ がつべいしやう おこりやすい
とくに細い血管が集中している場所に合併症が起こりやすいです。

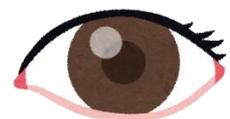
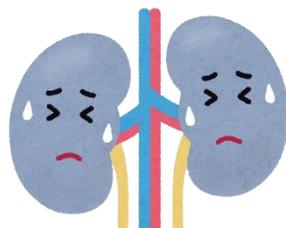
め じんぞう しんけいけい どうじ しょうがい おこしやすく いか
眼・腎臓・神経系で同時に障害を起こしやすく、以下の合併症を併発します。



とうにょうびょうもうまくしょう
・糖尿病網膜症

とうにょうびょうじんしょう
・糖尿病腎症

とうにょうびょうしんけいしょうがい
・糖尿病神経障害



たいせつ
大切なこと . . .



じぶん どうにようびょう じょうたい しる
まず自分の糖尿病の状態を知るところから

はじめましょう
始めましょう！

わたしたち おてつだい
私たちもお手伝いしますので、

いっしょ べんきょう
一緒に勉強していきましょう。

しょくじ かんりえいようし おまかせ
食事のことなら管理栄養士にお任せ！

しょくじりょうほう ちりょう きほん
食事療法は治療の基本ですから、

なん きいて
何でも聞いてくださいね。

いっしょ べんきょう
一緒に勉強していきましょう。



糖尿病の管理を十分に行わないまま放置すると、腎機能が低下してきます。(糖尿病性腎症)

糖尿病透析予防指導では**糖尿病のある方の腎機能の低下を早期に発見し、**

腎機能の低下と透析導入を予防するために、専任医師、看護師、管理栄養士などによる糖尿病透析予防診療チームが治療のサポートをします。

内科医の診察日と同日に、看護師による日常生活の指導、

管理栄養士による食事療法についての指導を行っています。

編集者より

この度糖尿病についての理解を深めていただくために、糖尿病新聞を発行することとなりました。

日々の診療ではなかなかお伝えできない事柄や、新しい情報など皆様に共有できればと思っています。まずは1年間よろしくお願いします。